

病床機能再編事業計画書

(地域医療構想の推進に資する病床削減)

構想区域	福山・府中地域構想区域
医療機関名	松岡病院

■計画概要

1. 令和2年4月1日時点の状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床数		51				51
稼働病床数		51				51

※許可病床に精神病床, 結核病床, 感染症病床は含まない

参考		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
平成30年度 病床機能報告	許可病床		51				51
	稼働病床		51				51
令和元年度 病床機能報告	許可病床		51				51
	稼働病床		51				51

2. 病床削減実施後の許可病床数

削減(予定)時期

令和 3 年 1 月

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
許可病床数		41			41
削減病床数 (許可病床ベース)	0	▲ 10	0	0	▲ 10

3. 病床削減計画の内容, 削減の影響(患者等)とその対応方針

患者のニーズにあった医療を提供するため, 大部屋の病床を減らし, 入院患者一人当たりの病床の面積を広げ, 医療の質を向上させる。
この病床削減により圏域の医療体制への影響はないと思われる。

4. 病床削減計画と地域医療構想の関係 (病床削減が構想の実現に資すると考える理由)

当該圏域は病床過剰地域である上, 広島県地域医療構想における2025必要病床数5,031床に対して, 令和元年度病床機能報告では5,245床であるなど, 214床の過剰となっている。
また, 医療機能別病床数においても急性期の2025必要病床数1,691床に対して, 令和元年度病床機能報告では2,059床となっており, 過剰となっている急性期病床を10床削減する当院の病床削減計画は, 当該圏域の地域医療構想に資するものとする。